



納奉
啖別神社
修中

案山子に願いを込めて
昔はハトとすずめ
今は……



相川の啖別（いかんべつ）神社で9月8日、恒例の案山子まつりが開かれ、個人や団体で作った力作20体が境内に並びました。

農作業の忙しい合い間に作った案山子には、地域の人達の豊作の願いが込められています。

まわ 広報

1988 10 No.441

9月1日現在

人口 21,721人
(前年比+30)

男 10,580人

女 11,141人

世帯数 6,706世帯

秋の収穫作業

農作業事故に気をつけて

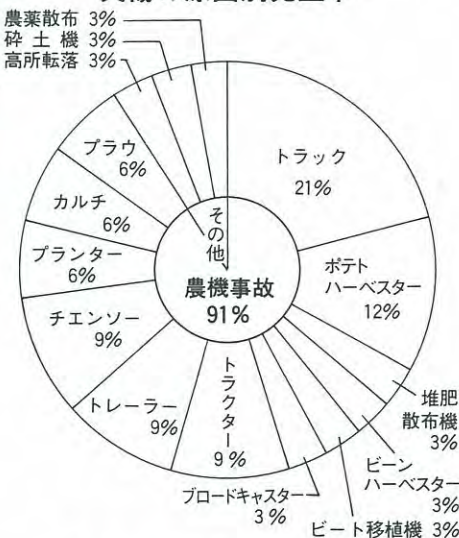
猫の手も借りたいほど忙しくても疲れた時はひと休み

昨年33人が負傷

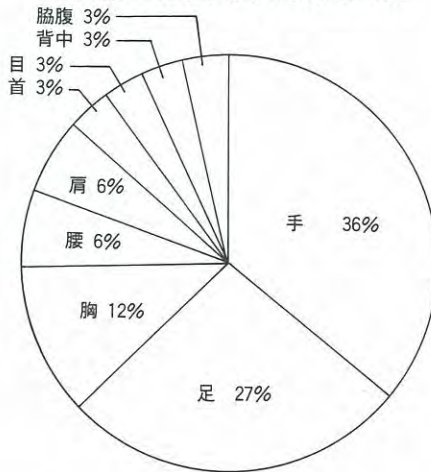
農作物の高品質が求められるようになったここ三年、農作業事故が増えています。十勝管内で六十二年間に負傷した人は五百九十三人、死亡は十二人で、過去十年間で最高を記録しました。

昨年、女性五人と、女性の事故がだんだん増えてきています。負傷事故の原因と部位は下の円グラフのとおりですが、原因別ではトラックへの積み込みや運搬する時に二一％、七人が受傷、また部位別では手と足が最も多く、六三％、二一人となつています。

負傷の原因別発生率



負傷の部位別事故発生状況



事故を未然に防ぐ六つのポイント

- ① 余裕のある作業計画
- ② 過労運転や作業にならないように、十分な休養をとる。
- ③ トラクターなどを動かす時は、必ず周囲の安全を確かめる。
- ④ 機械を動かしている時は、子供を近づかせないようにし、補助作業者にも十分注意する。
- ⑤ 機械の点検、調整は必ずエンジンを止めてから行う。
- ⑥ トラクターに安全フレームをつける。

まずは服装から…



五十分から七時までの間の一分間で、放送日と内容は次のとおりです。

- 事故防止番組が放送されます
- NHK 農作業の繁忙期に入り、農作業事故が心配されるため、NHKの総合テレビとラジオ第一放送で「農作業事故を防ごう」という番組が放送されます。
- | 放送日 | 内容 |
|-----|--------------------|
| 2日 | ビックベールの乾燥調整と自然発火防止 |
| 9日 | ビート収穫作業 |
| 16日 | 秋起こし作業 |
| 23日 | 格納保管の注意 |

写真は、ジャガイモの収穫作業です。これから、豆、ビートの収穫が始まります。機械の操作に十分気をつけてください。



ない!!!



秋の行楽シーズン

ドライバー 歩行者とも交通安全を心がけて

十月になると山の木々も色づき始め、いよいよ秋の行楽シーズン到来です。みなさん、スピードの出し過ぎ、わき見運転、疲れによるいねむりに十分注意して、楽しい旅行をしてください。歩行者や自転車に乗る方も、夜でも車から良く見えるように明るい服装や反射材をつけてください。

今月号の記事は、いつも聞くこと言われていることですが、自分が事故に合わないためには、まずこれらのことを必ず守ることだと思えます。一人ひとりが交通安全を心がけて、楽しい秋の思い出をつくらせてください。

同乗者も安全運転に協力できます

ドライバーだけが安全運転に心がければいいわけではありません。いっしょに乗るあなた、同乗者のあなたも次のことに気をつけ、ドライバーの有能な助手になって、安全運転に協力してあげてください。

- ① 助手席でのいねむりはドライバーのいねむりを誘いますので、なるべくいねむりをしない。
- ② ドライバーにむやみに話しかけたり、同乗者だけで騒がない。
- ③ トイレなど、車を止めてもらう時は早目に伝える。
- ④ 車が走っている時は、同乗者もお酒を飲まない。

歩行者の交通安全

歩行者事故はドライバーの一方的な過失だけでなく、歩行者のルール違反や不注意によるものもたくさんあります。「飛び出し」や「車の直前、直後の横断」は、そ

の大きな原因になっています。歩行者も交通ルールをきちんと守ること。道路を横断する時は左側の安全を確かめ、横断歩道がある所では必ず横断歩道を利用して、自動車に十分注意しながら横断してください。

スピードは 常にひかえ目

事故は一秒か二秒の違いで起きます。いつも目いっぱいだと一、二秒の余裕がとれません。常にひかえ目の速度です。

カーブでは 手前で減速

カーブでの転倒、対向車との正面衝突は若い人に多い事故です。手前で減速して、やっぱりひかえ目の速度です。

交差点では 必ず安全確認

出会い頭の衝突、歩行者や自転車との事故の多くは交差点とその付近です。信号機の有無にかかわらず必ず安全確認。

横断歩行者は 一時停止や徐行

住宅地や商店街の生活道路を運転する時は、とくに横断歩行者の早期発見に努め、一時停止や徐行をしてください。

飲酒運転は 絶対しない

お酒を飲むと安全運転に最も必要な、確認、判断する能力が確実に低下します。飲酒運転は絶対しないこと。

ドライバーのみなさんへ

交通安全 事故死ストップ決起大会

町ぐるみで交通安全運動を盛り上げようと、九月一日午後、相川の十勝家畜市場で「幕別町交通安全事故死ストップ決起大会」が開かれました。大会は笹井俊治交通安全協会長のあいさつで始まり、最後に代表者が「無煤運転はしない。ルールとマナーを守る」などと書かれた宣言文を読み上げ、これを帯広警察署長に手渡しして車両パレードに移りました。



決起大会で宣言文を読み上げる伊藤宏幸さん

わき見いねむりはしないでシートベルトしよう

下の写真は9月1日の決起大会のあとに行われた車両パレードです。トラックや乗用車50台が連なって、「スピードダウン」あせらずに次の青まで待つ余裕」と書かれた旗や幕を車に張って町内30分を走り、交通安全を呼びかけました。



長年の功績も たたえて

昭和63年度の幕別町功労者等表彰式が開町記念日の10月1日、町民会館で開かれました。この表彰は、町条例に基づいて自治・経済・社会・文化等の発展に顕著な功績のあった方を表彰するもので、本年度は次の方々が受賞されました。

開町記念式典で表彰

10月1日



スポーツ功労

木村 正夫さん
(70歳・旭町)

昭和四十七年、幕別小学校長に着任と同時に町体育連盟会長に就任、以来十六年間に、各種競技団体の組織化と育成に尽力されました。またスポーツ少年団活動にも深い感心を持たれ、その育成を図って現在の基礎を築かれ、本町のスポーツ振興のために多大な貢献をされています。



産業功労

大野 栄さん
(68歳・途別)

寒冷地水稲栽培の先駆者として稲作研究連合会会長を九年務め、品種の改良と生産力の増大を図り、途別米銘柄の確立に努力されました。また昭和五十二年からの九年間は、札内農協監事として、農協経営の健全化に尽力されました。



伊東 吉男さん
(67歳・日新)

昭和四十年から十八年間に、札内農協監事、同理事として農協経営に参画され、農業経営の安定化に尽くされました。とくに五十二年からは組合長理事を六年間務められ、農協の健全運営を図り、地域農業発展のために多大な貢献をされました。



社会功労

高垣喜二郎さん
(71歳・駒島)

昭和三十二年から現在に至るまでの三十一年間にわたり、統計調査員として数多くの調査に従事されました。この間、北海道農業基本調査を二十六回、農林業センサス九回、国勢調査を四回と、的確に調査を行い、本町行政の推進に尽力されました。

小川サツさんに総理大臣から記念品



総理大臣からの銀杯を手にする小川さん

敬老の日・老人福祉週間中の九月十六日、特別養護老人ホーム札内寮に入所された。

長寿をお祝いして

小川さんは明治二十二年三月十八日、富山県で生まれ、十六歳の時に来道して町内の新和地区に入植後、帯広市に転出されました。札内寮には五十九年十二月から入所されています。記念品を受け取った小川さんは「ありがたいことです」と喜んでおられました。

札内幕別で敬老会

幕別町敬老会が九月十九日から二十一日までの三日間、札内福祉センター、町民会館、糠内コミセンの三カ所で開催されました。

今年の敬老会にご招待した方は男女合わせて九百七十四人で、このうち七十五歳になられる方は百二十七人です。また米寿を迎えられた二十五人には、一人ひとりに町からご本人の額入り写真と毛布、知事からの花瓶が記念品として手渡されました。

各地区の会場には、たくさん

歌や踊りを楽しむみなさん(町民会館)



幕別高校で記念式典

9月25日

創立40周年と新校舎の落成を祝いました

幕別高等学校（山崎徹校長）の創立四十周年・新校舎落成記念式典が九月二十五日、同校体育館で行われました。式典には生徒のほか来賓、卒業生など約八百人が出席し、歴代教職員など五十一人に感謝状が贈呈されました。

幕別高校は昭和二十二年十二月、北海道池田女子高等学校（現池田高校）幕別分校として定時制課程普通科三学級で創立されました。その後、二十六年四月には北海道

幕別高等学校として独立し、四十年の道立移管とともに定時制が廃止され、全日制自動車科二学級、商業科一学級となりました。五十年に一学級新設した普通科は六十年には四間口となり、今年三月に

自動車科が閉科になりました。新しくなった校舎は、六十一年から三カ年計画で総工費十三億円をかけた四階建てです。一階には校長室のほか、事務室、特別教室

生徒玄関正面の壁
生徒の憩いの場サニールーム
茶室もできました

式典であいさつする山崎徹校長



があり、二階に職員室と三年生のクラス、三階に二年生、四階が一年生のクラスになっています。校舎の主な特徴は、生徒玄関の正面にスズラン、カシワ、白鳥と町の花や鳥をモチーフにしたカラマツ材の壁面があること。もう一つは二階以上の各階に二カ所ずつ、生徒達の憩いの場となるサニールームがあることです。

歴史の番人

時代をみつづけて

幕別の歴史を見続けてきた古いものをさがしていきます。今月号は糠内コミュニティ横に移築された、吉田猛さん（現在帯広市在住）の離れ屋敷をご紹介します。



吉田猛さんの離れ屋敷を糠内開拓記念館として保存

糠内コミュニティセンターの東側に住宅が六十一年に移築されました。これは吉田猛さんの先代太吉さんが大正十一年に建築したもので、建材はすべて槐（エンジュ）の木が使われているという、当時でも今でも非常

繊細な造りの内部



にめずらしい建物です。

さて建物の中を見てみます。

玄関を入ると八畳、十畳の和室が東西につながり、南側に縁側、西側に左明かりで床の間があります。この床の間は蹴込床と言われ、その大きさも掛け軸を三対も掛けられる七尺床です。また天井は竿縁天井、部屋と部屋は障子で間仕切りがされ、欄間などを見ても、現在では見ることできない繊細な造りとなっていて、新しい時代になっても失われぬ美しさがあります。桃の節句にはおひな様が飾られ、これを見に行った人達にとっても思い出深い建物です。

寄贈されたこの建物は約十六坪で現在、『糠内開拓記念館』として保存されています。

（取材協力・杉崎峰之さん）

広報係では町内の古い物をさがしています。お心あたりの方はご一報ください。

9月は

あちこちで秋まつり

今年の夏は、お日様のきげんがちよつと悪かったようです。でも九月に入ってから、ごきげんもなおりますように、とくに各地で行われた秋祭りの日は好天に恵まれ、たくさんの方でにぎわいました。

幕別、札内、途別、相川の秋まつりを追っかけて取材しましたので、写真で雰囲気味わってください。



↑
女の子もいっしょに子供ずもう(相川)

← 迫力のあった商工会青年部のみこし(幕別)

元気よく街を練り歩いた子供みこし(札内)

↓
思わず笑ってしまいました(途別)



地域の手づくり 途別に新コース完成

駒島の「しらかばコース」に続く二番目の手づくりコース「途別アカシヤコース」が旧小中学校跡地に完成し、九月五日にオープンしました。住民の手で約五千平方メートルを整地、芝生の種をまくなど、約四カ月をかけて十二ホールが完成しました。

この日のコース開きには約七十人が参加しました。なかには初めてスティックを手にする人もいて、コース内は笑い声でいっぱい。ホールインワンもさっそく出るなどパークゴルフの楽し



オープンした途別アカシヤコース

幕別町で生まれた ルンゴルフ

しさを満喫していました。成績は次のとおりです。

- 男子優勝 高橋正之
 - 準優勝 西田利夫、高橋さん
 - 三位 白木俊美
 - 女子優勝 白木艶子
 - 準優勝 乾意美子
 - 三位 田宮恵美子
- 左から西田さん、白木さん、高橋さん



幕別勢大活躍!

本別で開かれた十勝大会

昨年、第一回が幕別町で開かれた十勝大会は今年、会場を本別町に移し九月十一日、十六町村から百二十人が参加して開かれました。幕別勢は、なれないコースでのプレーとなりましたが、随所に好プレーを披露。

男子の部では山口清さん(春日町)がアンダー十二で優勝、女子の部でも徳堂竹子さん(春日町)が三位に入り、参加者からは「さすが発祥の地・幕別町」と称賛されました。

まちの
今月は
ニューズ
ワイド版



ドウラク・クラブが優勝
全幕別男子ナイターソフトの決勝戦が九月六日、札中グラウンドで行われました。出場二十チームのうち決勝に進んだのはドウラク・クラブと明倫A。対戦の結果、十八対八とドウラク・クラブが圧倒的強さで優勝しました。

温水プールで全十勝水泳大会

第29回全十勝水泳選手権大会が9月11日、幕別町温水プールで開かれ、小中高生・一般合わせて542人が十勝で一番を競いました。



全町陸上競技選手権で熱戦

今年で第12回になった全町陸上競技選手権大会が9月15日、運動公園陸上競技場で開かれ、男女236人の小中学生が熱戦を繰り広げました。



人馬一体で障害にチャレンジ

第7回幕別町鞍馬（ばんば）競技大会が9月23日、依田の特設会場で開かれ、約70組の人と馬が一体になって障害に挑みました。



一、五〇〇人の人文字が完成
幕別農協の第十回農民運動会が軍岡の家畜品評会場で開催されました。今年は農協創立四十周年ということで、参加者千五百人による人文字が企画され、見事に「まのう」の字が書かれました。



生ギターの演奏に魅了
町民芸術劇場が主催する「東京新堀ギターアンサンブル」が九月十二日、町民会館で開かれました。集まった五百人の観客は、一曲終るごとに大きな拍手を送り、生ギターの演奏に魅了されました。



公区で町道の草刈り
交通安全を願って、町道日新線ほか町内五路線沿いの草刈りと立木の枝払いが行われました。猛暑の中、日新一、二、昭和、上稲志別の方々四十人の手によって、約十六キロがすっきりしました。



あやとり教えてもらった
幕別わかば幼稚園で敬老の日の九月十五日、おじいちゃんやおばあちゃんから昔の遊びを教えてもらいました。お手玉やあやとりメロンコなど、お孫さんといっしょに遊んで、みんな楽しそう。

広報クイズ ①9

500円の図書券が当たる

読書の秋です。広報クイズに
 どんどん応募して、図書券をもち
 らおう。ではさっそく……

- ①表紙の写真の中に人間は何人写っていた
 (A)0 (B)2人 (C)3人
- ②62年度に農作業事故でケガをした部分
 はどこが一番多かった
 (A)頭 (B)手 (C)足
- ③幕別町の開町記念日はいつ
 (A)9月25日 (B)10月1日 (C)10月10日
- ④吉田猛さんの離れ屋敷の建材は何の木
 (A)エンジュ (B)カラマツ (C)スギ
- ⑤幕別町で2番目の手づくりコースができたのはどこの公区
 (A)途別公区 (B)駒島公区 (C)相川公区

【応募方法】

★はがきに答えの記号(例①-A)、住所、氏名、年齢と、ご意見ご要望、広報を読んでも一言などを書き添えてください。

全問正解の人の中から抽選で5人に500円の図書券をプレゼントします。応募は1人1通に限ります。ご意見などのほか、イラスト、漫画、詩、コントなども大歓迎です。イラストや漫画は黒色で濃くかいてくださいね。

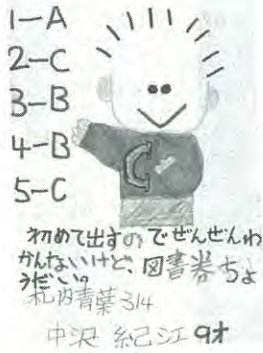
★あて先=☎089-06

幕別町本町130 役場内・広報係

★締め切り=10月15日 (15日の消印有効)

★前回の正解は、①-A、②-C、③-B、④-B、⑤-Cでした。応募56通で全問正解が47通。抽選で次の5人が当選しました。
 (敬称略)

伊東秀規 (6・旭町) 長谷美砂子 (8・泉町) 斉藤希美 (9・泉町) なかばちかずき (7・桂町) 田村裕子 (15・春日町)



中沢 糸江 9才



みんなの ハガキで一言

①-A ②-C ③-B
④-B ⑤-C



以前は新聞に幕別町の出生届出の名前がのっていたのですが、二三年前からのらなくなり、何かものたりない淋しさを感じます。広報まくべつに紹介してみたいかがでしようか……? ↓あかしや町・栗生孝子(?)

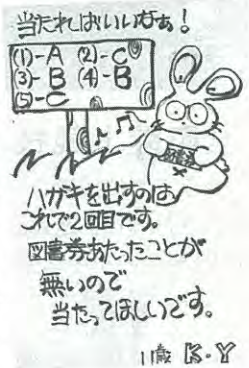
最近、世の中はじめと言うか。夜も昼もあかりが付き、毎日の食事にも季節がない、天候までもパットしないのでいやらしい。私の幼い頃のように冬は寒く、夏は入道雲、日暮の夕焼け、そして豊作の秋の笑顔が見たい。 ↓大豊・遠藤信志(西丈)

😊…この度、あなたの意見コーナーに一家で写真をのせていただきました。私達家族の意見を町長さん一つでも実現してくださいね。毎回広報スタッフの方ご苦労さまです。 ↓若草町・入谷貴美子(?)

😊…いつも広報たのしく見ています。はやく図書券あたるといいな。あたるまで何度でもハガキだすからネ、広報係のみなさん、ガンバってください。 ↓あかしや町・横山真嗣(モコ)

♣…真嗣くんありがとう。当選してもハガキを出して下さいネ。おじさんはいつも君からのハガキを楽しみにまっていますヨ。

😊…久しぶりにハガキをだしました、どうか図書券があたりますように、先に友達があたってしま



11歳 13-Y

ほんの一言

😊…今回二度目、図書券ほしい、当選したら私の大好きな小説を買うのです。 ↓文京町・岸田幸恵(三二)

♣…一回で二つ当選することはありませんよ。毎回、厳正に抽選をするので何回か当たっている人はいるけどネ。えりさちゃんのが早くあたるといいネ。

😊…子供たちとハガキをだしました。だれかに図書券があたりますように。 ↓旭町・伊東悦子(三二)

😊…いつも広報を待ち遠しく読ませて頂いています。「広報クイズ」は子供さんが多いので迷っていましたが思いきって出しました。あたるのを孫と楽しみにしています。

↓旭町・敷本初子(六三)

♣…やさしいおばあちゃんの願いがかなうといいですネ。次回のハガキではお孫さんの名前を教えてくださいな。

😊…桂町の合同盆踊り広報にのせてくださりありがとう。役員の方は大変ですが、地域の人は楽しみにしているのですと続けてほしいです。 ↓桂町・石田恵理子(?)



栗飯原さんと最高位の62TH49号

十勝総合畜産共進会で最高位

綿羊最高位 栗飯原 正さん

十勝農協連主催の「第二十一回十勝総合畜産共進会」が八月十一日、十二日に帯広市で開かれ、綿羊の部で相川の栗飯原さん、乾牧草の部で糠内の松岡さんが、それぞれ最高位を受賞されました。お二人に喜びの声とコツを聞いてみました。

栗飯原さんは十一年前に帯広市から移住され、畑作経営の副業として三年前から綿羊を飼い始めました。
「共進会という大きな舞台での受賞は初めてです。一生懸命手伝ってくれた子供たちといっしょに、この受賞を喜んでいきます。」

最高位を受賞した綿羊は昨年二月に生まれたもので、賞を目指して特別に育てた二頭のうちの二頭です。家畜は家族みんなの協力がなければ飼えるものではありませんし、損得を考えずにどれだけ愛情をかけるかが、家畜を飼う上で大事なことだと思います。

松岡さんは乳牛九十五頭を飼育し、昨年三百トンの牛乳を出荷した酪農専業農家です。

乾牧草最高位 松岡 光男さん

牧草を手に喜びの松岡さん



「最高位を受賞した牧草は、チモシーとアルファルファの混合でした。牛も二頭出陳していましたので、そちらの方がかりが気になり、戻ってみて最高位のリボンが付いているのにはびっくりしましたが、自分の作ったものが選ばれるということは、大変うれしいものです。牧草は適期に刈りとることが大切ですが、時期になると天候が気になります。自分の今までの経験とカンをもとに家族総出で一気に

収穫をします。

いい牛を育てるためには、まずいい草をとることです。それが牛飼いの原則ですから、いい草をとるために牧草づくりをしてきました。家族みんなの協力があつたからこそ、今回の受賞につながったものと考えています。」

ひと

少年国内研修団の
団長
とみ 富谷 寿宏 さん
(軍岡・15歳)

43 研修の経験がこれから役立つ

今年度から実施した少年国内研修団の団長を務めた、富谷寿宏君に研修の感想を聞きました。

「小学校五年生から中学校三年生までの男女十五人で、八月二日から五日までの四日間、東京都目黒区の人達との交流を中心に研修をしてきました。目黒区では区長さんをはじめ、子供会の人達の大歓迎を受け、子供たちと話をしたり遊んだりしたんですけど、みんな元気が良くて圧倒されちゃいました。また夜は二、三人に分かれてホームステイをして、その家の子

供とも仲良くなることができました。」

「みんな病気もケガもせず元気に帰ってきました。みんなが研修に行つて良かったと言っています。僕もそう思っています。たくさんの人から話を聞いたこと、実際に自分の目で見たこと、すべての経験がこれから役立つていくんだと思います。東京はたくさん人がいました。東京に行ったことで、幕別という田舎の良さがあらためてわかりました。」

昭和四十八年五月二十八日生まれで、幕中の生徒会長。来年の受験に向けて勉強中です。

「寄付ありがとうございます」

町へ

▼MOA帯広十勝交通安全推進
キャンペーン実行委員会(帯広市)
から二十万八千二百一十円

社会福祉協議会へ

▼田中敏子さん(中央町)から十
万円 ▼岡田一さん(相川)から五
万円 ▼高垣喜二郎さん(駒島)か
ら三万円 ▼広瀬喜章さん(千住)
から三万円

老人クラブへ

▼佐伯正広さん(新和)から新和
老寿会へ二万円 ▼谷原勉さん(中
央町)から札内寿会へ三万円 ▼

その他

▼南幕別公区新生活改善推進委
員会へ小笠原輝義さん(南勢)から
三千元、新田登さん(駒島)から三
千元



資料や参考書の充実と 勉強のできるスペースを考えて

札内にも図書室はあるけれど、すこし趣味の方に走りすぎているという印象があります。もっと学生のことも考えて、資料や参考書などを増やしてほしいです。

これは私個人の考えですが、図書館というものは、静かで快適に勉強ができ、かつ資料もそろっている場所だと思います。新しくできる図書館には、学生が落ちついて勉強のできるスペースも考えてください。

春日町（高校生・16歳）柏崎 公美



今からとっても楽しみです 借し出しがカードになればなあ

図書館が新しくなるということを知って、今からとっても楽しみにしています。新しい図書館への希望は、本の種類がたくさんあって、マンガコーナーなどもあったらいいなあと思っています。

私が知っているかぎりでは、本を借りると受付の人が紙にペンで書いてくれましたけど、今度はカードでピッとすぐできればいいですね。

錦町（小学生・11歳）西田 昌代

あなた の意見

聞かせてください

図書館
について

みんなが気軽に利用できる 場所と人材を期待します

図書館をみんなが気軽に利用できる第1条件は、子供からお年寄りまでが、いつでも行くことのできる場所だと思います。また施設には、利用する人達の活動を組み入れることのできる設備と施設の機能が十分に発揮できるような人材の配置を期待しています。

図書館をどうするか、みんなで考えてみませんか。ご意見のある方は私へ連絡ください。（☎56-2697）

泉町（よりよい図書館をつくる会代表）佐藤 知子



子供は知識欲が旺盛です 自転車に乗って行ける所に

子供は本来、知識欲が旺盛で、すぐれた本を読みたいと思っています。しかし、そのきっかけがなかったり、読む環境が整っていないために「読書ぎらい」「活字ばなれ」になってしまいます。

休日には、親子が好きな本をゆっくり選べるような図書館が、自転車に乗って行けるような所があればいいと思います。

青葉町（教員・42歳）ニツ山 智



子供といっしょに利用しています 座る場所と子供の本を増やして

私は小学6年のころから図書室を利用しています。今は二人の子供といっしょに利用していますが、スペースが狭く、書棚も高すぎます。書棚は、せめて目の高さぐらいにしてください。

新しい図書館には、座って読めるコーナーと椅子のコーナーを作り、専門書と一般書を別々の部屋に。また子供の本はどうしても早く痛みます。厚手の本にすれば長持ちすると思います。開館時間も延長してほしいです。

旭町（主婦・27歳）佐々木 裕美



十一月号のテーマも 図書館について

十一月号も図書館についてをテーマとしますので、皆さんはどんな図書館を望んでいるのか、今の図書室をどう利用しているのかなど、幅広くご意見をお寄せください。

十二月号、来年一月号では成人式についてをテーマとします。これから成人式を迎える人の希望、もう済んだ人の感想、親としての意見など、はがきか手紙で百五十字前後でお願いします。なお住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記のうえ、本町一三〇 役場広報広聴へお送りください。

成人式について

十二月号のテーマ